



2026年5月14日

各位

会社名 SECカーボン株式会社
代表者 代表取締役社長 中島 耕
(コード番号 5304 東証スタンダード)
問合せ先 経理部長 松尾 三四郎
TEL 06-6491-8600

特別損失(減損損失)の計上及び2026年3月期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社グループは、2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)において、特別損失を計上するとともに、2025年11月13日に公表しました2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について

当社グループの人造黒鉛電極製造設備について、市場環境の変化により、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから当該資産の減損処理を実施し、減損損失6,063百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 2026年3月期の通期連結業績予想と実績値との差異(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	26,600	4,100	5,300	3,600	179.57
実績値(B)	25,101	4,008	5,683	△74	△3.72
増減額(B-A)	△1,498	△91	383	△3,674	-
増減率(%)	△5.6	△2.2	7.2	-	-
(ご参考)前期実績(2025年3月期)	31,179	6,823	7,716	5,750	285.59

3. 差異の理由

当連結会計期間において、アルミニウム製錬用カソードブロックの下期販売で在庫調整の影響は解消に向かったものの、想定より回復に時間を要しており、その結果、売上高、営業利益は業績予想を下回ることとなりました。

一方、経常利益におきましては、為替レートが想定に比べ円安に推移し、また保有株式について受取配当金が想定より増加したこと等により、業績予想を上回る実績となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別損失を計上したことにより、実績が業績予想を大幅に下回り、当期純損失74百万円となりました。なお、特別損失の詳細につきましては、「1. 減損損失の計上について」をご参照ください。

以上